環境産業委員会

委員長　小沼秀朗

当委員会は「掛川の森の在り方や活用方法を考えた再生可能エネルギー」を年間研究テーマと定め、市内外の視察調査研究と協議を重ねてまいりました。その概要をご報告申し上げます。

1 地域完結型となる地産地消を重視した再生可能エネルギーを推進し、太陽光発電、風力発電に加え、バイオマス発電の研究も進めるべきです。それらを災害時に活用できる自家発電システムとしてスマート公民館、スマート生涯学習センター等の整備や、各戸の蓄電池設置補助事業の拡充を図るべきと考えます。

2 「新電力事業シュタットベルケ」の研究を進め、市民、民間との協議、連携を深めながら、電力自由化を含め、余剰電力の有効活用を推進すべきです。また、電力への市民意識を高める必要があります。

3 環境保全、温暖化対策を考え、景観阻害や反射光等周辺に害を及ぼす可能性のある太陽光パネル設置等に関するガイドラインを作成すべきです。また、東山及び板沢地区の指定希少野生動植物種保護区等の生物多様性を考慮し、里山を守る必要があります。

北海道豊頃町でメガソーラーを視察

北海道庁でバイオマスネットワークを視察

東海大学清水キャンパスで木質バイオマス小規模発電機を視察

北見市でペレットボイラーを視察